これまでの検討経緯、検討課題及び検討スケジュール（案）

1 これまでの検討経緯

次のとおり、関係団体等において自主的な検討がなされているところである。

（1）使用方法及び就業制限等

関係業界による「解体用機械の使用方法、就業制限等に係る新たな規制のあり方に関する検討会」を開催して検討（事務局は厚生労働省建設安全対策室）。

（報告書は参考資料 3）

（1－2）就業制限

一般社団法人全国登録教習機関協会が「解体用機械運転資格検討分科会」を設置し、検討中。

（2）構造関係

一般社団法人日本建設機械施工協会製造業部会マテリアルハンドリンググループで検討中。

（3）定期自主検査関係

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会が「解体用機械（ブレーカを除く。）検査検討分科会」を設置し、検討中。

2 検討課題及び内容

検討課題	内 容
未規制の解体用車両系建設機械の規制の必要性	① 労働災害の発生状況と問題点 ② 現行の規制概要と規制の必要性
未規制の解体用車両系建設機械に係る具体的な安全対策	① 使用方法に係る安全対策 ② 就業制限等の見直し ③ 構造規格の見直し ④ 定期自主検査の内容
報告書案策定	

3 スケジュール

10月29日（月） 13:00～15:00	第1回	検討の趣旨、検討課題、スケジュールの説明 規制の必要性と規制の概要、具体的な安全対策の 検討（主に使用方法、就業制限等）
11月21日（水） 10:00～12:00	第2回	具体的な安全対策の検討（主に構造規格、 定期自主検査）、報告書骨子案
12月6日（木） 13:30～15:30	第3回	報告書（案）取りまとめ